

令和2年度

決 算 概 要

第 12 期

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

公立大学法人宮城大学

比較貸借対照表（概要）
(令和3年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	R3. 3. 31	R2. 3. 31	前期比較		科目	R3. 3. 31	R2. 3. 31	前期比較	
(資産の部)					(負債の部)				
土地	4,631	4,631	0	100.0%	※2 資産見返負債	1,725	1,563	161	110.3%
※1 建物	5,760	5,280	480	109.1%	※2 うち建設仮勘定見返 運営費交付金	0	263	△ 263	-
構築物	111	96	14	114.8%	長期リース債務	55	135	△ 79	41.0%
機械装置	14	20	△ 6	69.4%	※3 運営費交付金債務	0	243	△ 243	0.0%
工具器具備品	235	309	△ 74	76.1%	寄附金債務	107	128	△ 20	84.1%
図書	798	793	5	100.6%	一般未払金	366	312	53	117.0%
美術品・収蔵品	137	137	0	100.0%	短期リース債務	79	79	0	100.6%
建設仮勘定	0	294	△ 294	0.0%	その他負債	138	130	8	105.9%
車両運搬具	0	1	△ 0	45.1%	負債 合計	2,470	2,590	△ 120	95.4%
ソフトウェア	3	4	△ 1	-	(純資産の部)				
投資有価証券	5	4	1	136.4%	資本金	15,516	15,516	0	100.0%
現金及び預金	1,094	1,365	△ 271	80.2%	資本剰余金合計	△ 5,682	△ 5,757	76	98.7%
未収学生納付金収入	6	6	0	104.5%	※4 資本剰余金	630	308	322	204.4%
未収入金	223	51	172	438.0%	損益外減価償却累計額	△ 6,312	△ 6,066	△ 246	104.1%
					利益剰余金合計	709	639	70	111.0%
					※5 目的積立金	269	632	△ 364	42.5%
					※6 当期末処分利益	441	6	434	6,843.3%
					その他有価証券評価差額金	5	4	1	139.7%
					純資産 合計	10,549	10,401	147	101.4%
資産 合計	13,018	12,991	27	100.2%	負債・純資産 合計	13,018	12,991	27	100.2%

※1 デザイン研究棟増加分566M
※2 資産見返負債：運営費交付金、授業料、寄附金、補助金その他等による償却資産取得時に計上される負債勘定
※3 運営費交付金債務：会計基準注解第79第3項の規定に基づき残額を全額収益化（臨時利益：340M）
※4 資本剰余金：法人設立時の美術品、モニュメント137M 目的積立金を財源とした固定資産取得分493M（R2取得分：322M）
※5 地独法40条1項積立金へ振替→県承認後前中期目標期間繰越積立金化
※6 441Mのうち努力認定分101Mについては承認後前中期目標期間繰越積立金へ繰入し、臨時利益分340Mは県へ返還

比較損益計算書（概要）

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（単位：百万円）

科目	R3. 3. 31	R2. 3. 31	増減	備考 (勘定科目や事業費等の増減については括弧内に＋，▲で表示)
経常費用				
教育経費	505	441	64	奨学費(従来分含む)増(+82M(※1)) 看護学群学外実習費減(▲6M(実習数減))
研究経費	171	176	△ 6	旅費減(▲14M) 業務委託費増(+6M(うち庁舎管理+2M・人材派遣+2M)) 減価償却費増(+2M)
教育研究支援経費	277	309	△ 32	賃借料減(▲24M(印刷機, 学務システム所管変更による勘定科目変更(支→一)) 消耗品費減(▲2M) 国際C関連経費減(▲3M) 水道光熱費減(▲1M)
受託研究費	54	56	△ 2	諸謝金(給与)減(▲2M) 業務委託料減(▲3M) 減価償却費増(+3M)
共同研究費	8	10	△ 2	
受託事業費等	10	14	△ 4	地連センター受託分減(▲3M)
人件費	2, 206	2, 187	19	役員人件費増(+1M) 教員人件費減(▲44M(教員数減)) 職員人件費増(+62M(会計年度任用職員制度開始による影響))
一般管理費	446	544	△ 98	修繕費減(▲143M(※2)) 水道光熱水費(▲11M(契約変更, 使用量減)) 消耗品費(+30M(コロナ関連)) 賃借料増(+24M(印刷機, 学務システム所管変更による増(支→一))
リース支払利息	3	3	△ 0	
雑損	1	0	1	
経常費用 合計	3, 680	3, 740	△ 60	
経常収益				
運営費交付金収益	2, 068	2, 216	△ 148	①新棟分を除く大規模修繕費:9M(▲168M(資産勘定R1:0→R2:160M(※2))) ②人件費:2, 060M(+21M)
授業料等収益	1, 182	1, 175	8	①授業料収益:964M(+2M) ②入学金収益:187M(+7M) ③検定料:31M(+1M) ④講習料:▲3M(教員免許状更新中止, 看護人材育成講習の回数減)
受託研究等収益	56	59	△ 3	R1:21件→R2:20件 主なもの ①異常発生したウーの効率の駆除:32M ②国産豚肉の研究:5M ③和牛の研究:4M
共同研究等収益	9	12	△ 2	R1:17件→R2:18件 ①味の素との共同:22M ②可児建設との共同:2M
受託事業収益	10	14	△ 4	地連センター 受託分:6M(▲3M)
補助金等収益	215	64	152	①感染症対策(県):50M(※3) ②緊急授業料減免(県):2M ③授業料等減免(県):100M ④復興人材育成(県):39M(+2M) ⑤キャリア支援(後援会):3M ⑥アソトレナ育成(文科省):5M(+2M) ⑦その他研究関連2件:16M
寄附金収益	44	61	△ 17	学習奨励基金(▲1M(R1で基金終了)) 奨学寄附金(▲4M(▲2件)) その他(▲12M(前年度IPPOIPPO寄附金の残額15Mを全学収益化した影響))
資産見返負債戻入	97	91	6	資産見返運営費交付金戻入(+6M(デザイン研究棟や大規模修繕事業による減価償却費の増))
雑益	49	56	△ 7	科研費間接経費減(▲8M(R1:20M→R2:12M))
経常収益 合計	3, 732	3, 747	△ 15	
経常利益	52	6	46	
臨時損失	120	71	50	震災減免授業料:60M(▲3M) 同入学金:9M(+3M) 災害復旧補助金:52M(+50M)
臨時利益	460	71	390	臨時損失見合い収益化:120M 交付金債務の収益化:340M
当期純利益	392	6	386	
目的積立金取崩額	48	0	48	目的積立金取崩370Mのうち, 修繕費用として執行した分(R1はなし) 左記以外の目的積立金取崩322Mは固定資産購入のためBS上の資本剰余金へ繰入
当期総利益	441	6	434	

減価償却費	441	658	△ 216	
減価償却費(損益内)	195	198	△ 3	
資産見返負債計上対象固定資産	97	91	6	デザイン研究棟の資産計上(+6M)
リース費用他	98	107	△ 9	R1学務管理システムリースアップの影響(▲10M)
損益外減価償却費	246	231	15	デザイン研究棟の資産計上による増(目的積立金充充分)

※1新学学支援制度開始に伴う皆増(+100M), 県の緊急授業料減免に伴う皆増(+2M), 従来分(経済減免)の減(▲20M)

※2大規模修繕について, R1は一部費用勘定があったが, R2は全て建物勘定(BSに計上)となったもの(R1の費用勘定:空調機等修繕工事(139M), 講堂照明設備修繕工事(21M)等総額177M)。

※3補助金総額75Mのうち, 資産計上は24M